

2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<心理科学科>

授業科目	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
基礎ゼミナールⅢ (心B)	2	・担当教員は精神科病院、総合病院の神経精神科で心理士としての実務経験があります。必要に応じてそのような臨床現場の実際を紹介していきます。
保健体育 (A)	2	・実務経験あり：小学校において教諭、管理職として従事した経験があり、その実務経験を活かして、学校現場の実態も踏まえた授業を行う。
発達心理学 (心)	2	・実務経験あり：公認心理師、臨床心理士として子育て支援や発達支援の現場に関わってきた経験に基づき、講義を行う。
臨床心理学概論 (心)	2	・第6回～9回「認知行動療法(行動療法ベースの技法)」の一部については、東京学芸大学特別支援科学講座小笠原研究室HPにて提供されている教材を使用し、指導方法を学ぶ。その他、実務経験を活かして事例等も紹介しながら授業を進める。
心理学的支援法 (心)	2	・授業においては児童相談所児童心理司、児童福祉施設・障害者施設等公務員心理職の実務経験に基づく事項等を紹介して、実践的な知識・情報の提供も行う。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	・「実務経験」 ・大阪府教育センター特別支援教育研究室長(首席指導主事)として行政経験と教員研修の経験がある。 ・大阪府立肢体不自由校「箕面支援学校・堺支援学校」の教諭経験がある。 ・大阪府立支援学校(交野支援学校・寝屋川支援学校・堺支援学校)の校長等管理職の経験がある。
貧困に対する支援	2	・実務経験あり：児童相談所、福祉事務所においてソーシャルワーカーとして従事した経験を有し、当該業務で得た具体例を講義に盛り込む。
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	・実務経験あり：民間ボランティアセンターにおいてボランティアコーディネーターとして勤務した経験があり、その経験を活かして利用者への支援方法について授業を行う。
社会福祉調査の基礎	2	・実務経験あり：介護老人保健施設において支援相談員として、在宅介護支援センターにおいて社会福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、統計資料をもとに客観的視点を養うだけでなく、利用者のサービス満足度調査や地域アセスメントなど、調査分析の必要性とそれを実践する上で必要な基本的知識や技能、倫理についての授業を行う。
刑事司法と福祉	2	・実務経験あり：児童相談所において非行相談の児童福祉司およびスーパーバイザーとして従事した経験を有し、当該業務で担当したケースを参考にした事例を用いた事例研究等を行う。
障害者・障害児心理学 (心)	2	・児童相談所、障害者施設、障害福祉行政担当者としての実務経験をもとに、障害全般にわたっての基本的知識や、心理社会的課題、必要な支援について講義します。講義テーマ等については若干の変更や順番の入れ替えの可能性があります、その場合は事前に通知します。
社会に活かす心理学 (2021年度入学生用)	1	・実務経験あり：各講師の実務経験に基づく講義です。各自の進路や学びに活かせるように、この機会を有効に利用してください。
こどもの心理学	2	・実務経験あり：臨床現場における実務経験に基づく講義です。
児童・生徒の心理とスクールカウンセリング	2	・担当教員は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如/多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
感情・人格心理学Ⅱ	2	・実務経験あり：医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。
心理学研究法Ⅲ (文献研究・英文を含む)	2	・実務経験あり：米国の教育機関におけるリサーチ部門にて業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、文献の読み方や内容理解の方法について講義を行う。
精神保健福祉制度論	2	・実務経験あり：精神科医療機関および障害福祉サービス事業所に相談援助業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして各領域における精神保健福祉士の実践や感じるジレンマについても授業で取り扱う。
研究演習Ⅰ (心B)	2	・実務経験あり：介護老人保健施設において支援相談員として、在宅介護支援センターにおいて社会福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、統計資料をもとに客観的視点を養うだけでなく、利用者のサービス満足度調査や地域アセスメントなど、調査分析の必要性とそれを実践する上で必要な基本的知識や技能、倫理についての授業を行う。
研究演習Ⅰ (心G)	2	・担当教員は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅱ (心G)	2	・担当教員は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅲ (心C)	2	・実務経験あり：精神科病院、総合病院の神経精神科などにおいて、臨床心理士、および公認心理師として実務に従事している。その実務経験を踏まえて学生の卒業論文作成についてのアドバイスを行う。

2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<心理科学科>

授業科目	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
研究演習Ⅲ (心I)	2	・担当教員は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅳ (心C)	2	・担当教員は精神科病院、総合病院の神経精神科で心理士としての実務経験があります。必要に応じてそのような臨床現場の実際を紹介していきます。
研究演習Ⅳ (心I)	2	・担当教員は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
ソーシャルワークの基盤と専門職 B	2	・ソーシャルワーカーとして精神科の病院で12年間働いた経験をもとに、ソーシャルワークの価値・知識・方法について講義する。
社会保障Ⅰ	2	・実務経験あり：病院において薬剤師として業務に従事した経験があり、実務経験を活かして社会保障についての授業を行う。
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	・実務経験あり：民間ボランティアセンターにおいてボランティアコーディネーターとして勤務した経験があり、その経験を活かして利用者への支援方法について授業を行う。
障害者福祉 (福・心)	2	・障害福祉サービス事業を展開している複数の社会福祉法人・特定非営利活動法人の研修講師、オブザーバー、コンサルタントの経験および行政機関から依頼された障害者虐待防止に関する研修講師の経験があり、その実務経験をいかして障害者福祉の理念や法制度について授業を行う。
おとなの心理学	2	・実務経験あり：担当者は精神科病院、総合病院の神経精神科、福祉施設などで臨床心理士・公認心理師として業務に従事してきました。現在も総合病院で臨床に携わっているので、それを生かした授業をします。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	・実務経験あり：幼児から青少年、障がい児の野外活動やグループワークの実践場面を取りまとめる業務に従事した経験があり、その実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方について考える授業を行う。
権利擁護を支える法制度 (福)	2	・実務経験あり：特別養護老人ホームにおいてSW(在宅部門ディレクター)として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして権利擁護やそれに関わる法制度についての授業を行う。
心理療法論Ⅱ	2	・実務経験あり：医療、教育、福祉、産業、司法などの領域での実務経験を持つ教員らが、現場での心理療法や心理面接についての授業を行う。課題については、次回の講義にてフィードバックを行う。
臨床神経心理学	2	・実務経験あり：認知症診断における神経心理学検査業務を検査者として従事した経験を活かして心理学の医学に対する貢献のあり方について問う授業をする。
心理的アセスメントⅠ (心)	2	・実務経験あり：医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。
心理的アセスメントⅡ	1	・実務経験あり：担当教員は精神科病院、総合病院の神経精神科、福祉施設で臨床心理士として心理判定、個人・集団の心理療法を行ってきた。現在も総合病院で心理臨床業務に携わっている。その臨床経験を授業でも提供している。
心理演習Ⅱ	1	・担当教員は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、発達障害や不登校事例を踏まえ、その臨床心理学的支援技法を実践的に習得させる授業を行う。担当教員は、児童心理司の実務経験に基づく事項等を紹介して、実践的な知識・情報の提供を行う。
心理療法論	2	・実務経験あり： スクールカウンセラー、精神科病院での実務経験を活かし様々な現場での心理療法や心理面接についての授業を行う。
精神分析学	2	・実務経験あり：現在、週4日の精神分析を受けており、また精神科に勤務する臨床心理士として精神分析理論に基づいた心理療法をおこなっている経験から、その実務経験を活かして精神分析とその実践についての授業を行う。
思春期・青年期心理学	2	・実務経験あり：精神科病院、総合病院の神経精神科で臨床心理士・公認心理師として業務に従事した経験があり、現在も後者で心理臨床業務に携わっている。それを生かした授業を行う。
中高年の臨床心理	2	・実務経験あり：精神科病院、総合病院の神経精神科で心理士としての業務に従事した経験があり、現在も後者で心理臨床を行っている。必要に応じて臨床現場の実際について紹介していく予定である。
学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2	・大阪府立の支援学校において教諭として業務に従事し、学習障害や注意欠陥多動性障害のある生徒の指導を行った経験があり、その実務経験を活かして、その障害特性や配慮あるいは支援のあり方などについて授業を行う。
基礎科学概論	2	・実務経験あり：病院において言語聴覚士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、保健・医療・福祉に必要な物理学の基礎知識についての授業を行う。
心理実習 (心)	2	・実務経験あり：担当教員は、医療、教育、福祉、産業、司法領域の実務経験を持つ。
	83	